

(様式第3号)

企業・団体名（

※記載例を参照の上、ご記入ください。
上田信用金庫

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・雇用、教育、人事考課、昇格昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営陣が積極的に関与している（研修の実施、内外に相談窓口を設置）						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・定期的に研修を実施している ・内外に相談窓口を設置している ・「ハラスメント防止に向けた取組方針」を制定し職員に周知している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・役職員は労働基準法等の改正内容を共有している ・適正な労働時間管理を行うため、静脈認証による出勤システムを導入している									8.5 8.8								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）		【予定】	【予定】現在外国人労働者の受入実績はないが、今後の雇用情勢により受け入れる場合は、適切な処遇や労働環境の整備を行う				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・事故防止、熱中症防止のため情報を常に発信している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・毎年行っている外部機関によるヘルススクリーニングにあわせストレスチェックを実施し、メンタル不調者に対しては専門医療機関等を紹介している ・内外に相談窓口を設置している			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・長野県の「社員の子育て応援宣言」に登録している ・次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」を取得している ・視力が低下した方や色弱者の方に配慮した「カラーユニバーサルデザイン」を預金通帳に採用している ・多くの職員が「認知症サポーター」の資格を取得している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	環 境	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・多様な外部研修に職員を派遣するとともに集合研修も開催している。通信講座や検定試験の費用補助を行い、資格取得へのインセンティブも支給している			4	5.5				8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			・パートタイマー労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・年1回のヘルススクリーニングを実施している ・5年サイクルで人間ドック受診を奨励（費用補助）している ・インフルエンザワクチン接種費用の補助を行っている ・胃検診、婦人科（乳がん・子宮頸がん）検診の費用補助している			3					8									
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・「廃棄物・リサイクルに関する運用管理要領」を制定し、当該要領に基づき適切な処理を行っている											11.6	12		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・「電力使用量削減に関する運用管理要領」、「ガソリン使用量削減に関する運用管理要領」を制定し、当該要領に基づき現状を把握している ・業務用車両の電動化に取組む（2019年度実績0台を2030年度までに20台とする）現在実績3台								7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			・「電力使用量削減に関する運用管理要領」、「ガソリン使用量削減に関する運用管理要領」を制定し、当該要領に基づき抑制に取り組んでいる								7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・有害アスベストおよび有害PCBについて現状を把握し、法の定めに従った厳格な廃棄処理を行なった			3.9			6.3					11.6	12.4						

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・「環境貢献に関する運用管理要領」を制定し、エコ環境金融商品の開発・提供やグリーン商品購入の推進活動を行っている							6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・コピー用紙は再生紙を使用している ・各種プリンター等のインクカートリッジのメーカー回収に協力している ・「紙使用量削減に関する運用管理要領」を制定し、当該要領に基づき使用済み用紙の裏面使用を行っている ・断裁したコピー用紙等をリサイクル業者を通じてトイレットペーパーに再生している										13		14.1						
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】ISO14001自己適合宣言内部監査体制により水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組む						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・ISO14001認証取得し、現在は自己適合宣言により運用を行っている			3.9			6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・毎年発行するディスクロージャー誌にて開示している											12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・新築店舗には太陽光設備を導入している 塩田支店25.53kw、野沢支店22.96kw						7.2						13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・「環境貢献に関する運用管理要領」を制定し、当該要領に基づきグリーン商品購入の推進活動を行っている ・ディスクロージャー誌の印刷は、環境にやさしい大豆インクを使用している ・預金通帳は、環境に配慮した植物油インクを使用し、エコクロスを使用したカーボンオフセット通帳としている											12.2	13	14	15				
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・「上田信用金庫行動基準：コンプライアンス宣言と法令等遵守の手引き」を制定し、定期的読み合わせをルール化して周知徹底を行なっている																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・「上田信用金庫行動基準：コンプライアンス宣言と法令等遵守の手引き」を制定し、定期的読み合わせをルール化して周知徹底を行なっている																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・現在2件の商標を保有し、適切に保護管理している ・マーク等を使用する場合は、商標登録の有無を特許庁J-Plat Patlにて確認している								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を定めて公表している ・「個人情報保護基本規程」、「特定個人情報取扱規程」を制定し、当該規程に基づき個人情報を適切に管理している																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って いないこと を確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】		【非該当理由】自社製品等の製造は行っていない																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・預金通帳の発注は、「GREEN PRINTING JEPI」認定業者へ出している ・サプライヤー、業務提携先等と、反社会的勢力の排除について認識を共有して取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			・2022年2月22日付にて「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。(2025年7月10日更新)			3				8	9	10								17	

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
41	組織体制	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・中小企業経営力強化支援法に基づく支援機関に認定されており、中小企業の経営支援に取り組んでいる ・ISO14001認証自己適合宣言により環境保護活動を行っている ・「反社会的勢力に対する基本方針」を定め、各種内規に暴力団排除条項を導入し、反社会的勢力との関係遮断に取り組んでいる ・「お客様本位の業務運営に関する基本方針」を定め、顧客の安定的な資産形成の実現に取り組んでいる																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・「業務継続基本計画」および6つの関連対応マニュアルを策定し、定期的な訓練を行っている									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・事業承継については、幹部候補の育成を含め検討している								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。） ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）
--

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
 - 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
 - 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定